

# 広報 伊方町

発行所  
伊方町  
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦  
〒796-03 ☎伊方局38-0211

編集課  
総務課  
印刷所  
豊豫社  
八幡浜市松栢 ☎22-0144



## この大きいの ぼくの芋だよ……。

### たき木集めて焼芋楽しむ

食欲の秋、有寿来保育所(園児十一名)では十一月六日、園の畑で収穫したさつま芋で、焼芋や芋がゆを楽しみました。

「よいしょ、よいしょ、先生たき木これくらいいい。」焼芋大会は、裏山からのたき木拾いで始まりました。



エプロン姿でお手伝い、上手に芋を包みます。

### 今月の紙面

二面……「四国八十八札所」ミニ体験  
三面……町の話  
健康の窓  
「老人福祉学会に参加して」  
「老人福祉学会に参加して」  
四面……第四十一回人権週間

### 自然の中で

#### 共通体験

亀井睦子  
(有寿来保育所・主席保育)

六月、さつま芋を植えました。自分で植えた小さな苗が、どんなに育ち実を結ぶか、自然界のサイクルの不思議さ、自然が生きている事への驚きを体験させる事が大きな目的です。

それと、もうひとつのねらいは、収穫物を自らの手で触れ食べることに、食品への視野を広げる事にあります。

先月末、待望の芋掘り。小さな苗は確実に豊かな実りを与えてくれました。焼芋、ふかし芋、大学芋と注文が出され、さらに芋がゆ、切干し造りと話が膨らみます。

この日は焼芋と芋がゆに挑戦。たき木集め、芋洗い、米とき、芋をぬれた新聞紙で巻きアルミホイルでくるむ、庖丁で切る……。子供たちの真剣な目が輝きます。また、一緒にエプロンをつけ煮えたお鍋を身近に感じるといった共通体験から、仲間意識も育ちます。

焼きたての芋、芋がゆ、それに焼いたカイボシを添えて食事や会話をします。こんな経験は、家庭でも出来る事ではありませんが、保育所だからあり、一人一人が感じた事、体験した事を話せ、聞いてもらえる仲間がある事の意味は大きいものがあります。

## 西平氏に黄綬褒章 町では六人目

町では六人目

秋の褒章で西平寿衛氏(川永田七十二歳)が黄綬褒章を受章しました。

黄綬褒章は業務に精励し民衆の模範である者に贈られるもので、西平氏は酒造業務精励者として受章しました。

昭和七年十一月に酒造場へ蔵夫として酒造りに従事以来、四十八年間酒造り一



黄綬褒章は宮崎市右衛門氏(大浜)故人、田中善吉氏(仁田之浜)故人、高門嘉夫留氏(川永田)故人、道上正氏(仁田之浜)、黒田市榮氏(大浜)に次いで町では六人目です。

## 行政相談委員に 木戸五雄さん

木戸五雄さん

十月十五日、総務庁長官から町の行政相談委員に木戸五雄さん(河内)が委嘱されました。

皆さんが暮らしている中で、道路や河川の整備、環境衛生など、国・県・町や特殊法人などの仕事に、苦情や要望、意見はありませんか。「苦情はあるが、直接役場などに行ってしまう

電話・手紙のいずれでもかまいません。相談は無料で、匿名でも受け付けています。行政相談委員は、みなさんの相談役です。お気軽にご相談ください。



行政相談委員) 木戸五雄(河内) TEL三八一〇三九二

# “四国八十八札所” 三二体験



▼地元のお年寄りも巡拝

▲観音様から伊方港が一望

四国には、四国八十八札所と呼ばれる霊場(寺)があり、これらの札所を巡拝する人々を遍路と呼びます。

この四国八十八札所の「三二版」が、中浦の法通寺に完成。九月二十一日、開眼法要を済ませ、地元のお年寄りに親しまれています。

法通寺の三二四国、昭和五十九年に壇家のかたから「本物の四国八十八札所巡りを巡拝できない人たちのために、地元につくっては」との声が上がりました。

巡拝コースは、一番の霊山寺から八十八番の大窪寺まで、距離にして約四百メートル。

各札所には、本尊とお大師様をかたどった石仏が並び、本四国の砂が埋められたお砂踏み霊場も兼ねています。また、頂上付近には薬師如来の石像、ほけ封じ観音の銅像も建立されています。

観音様からは、伊方港や鳥島が一望でき、三二四国巡拝とともに景色も楽しめる場所となっています。



※図に四国八十八札所の遍路地図を紹介してみました。



## 「四国八十八札所」一口紹介

四国八十八札所は、青い国と呼ばれる四国(徳島・高知・愛媛・香川)の四県に散在する、弘法大師(空海)の遺蹟八十八カ所を指すものです。

弘法大師(七七四〜八三五)は、讃岐(香川県)に生まれ、唐(中国)に渡って密教の奥儀を体得して帰国。真言宗を開いた日本の代表的な高僧として知られています。大師の仏道修業にあやかうと、弟子などが、四国の各地を巡回修業するようになったのが初まりで、江戸初期に現在のような、四国八十八札所巡りが確立されたと言われています。

この札所(霊場)のルートは、点と線で結ばれていて、点は寺、線はそれを結ぶ遍路道です。また、これらの札所を巡拝する人は、巡礼とは言わず、遍路と呼ばれています。

この四国八十八札所、お遍路さんで歩くとなれば、五十日か昔から言われている常識。車を使っても一週間ばかりかかる道のりです。



龍光寺 第四十一番 十一面観世音

## 飲酒運転の恐怖 トラが動かす凶器

そして、このような状態は、極端にいえば、おちよこ一杯のお酒で、だれにも起こっていることです。

お酒をほんの少しだけ飲んだ程度では、運転する能力に限って言えば、まだ残っています。しかし、運転に必要な判断力や物を見て考える力はすでに失っています。飲酒運転はいけません。知っていてもそれを抑制する理性がもうないので、飲酒運転をしてしまうのです。

### ビール一本で「悪影響」

健康な大人は普通、お酒を一合くらい、ビール一本程度で「ほろ酔い」といわれる状態になります。こうなると、理性を失うばかりか、運転に必要な能力にも影響が出てきます。

例えば、外の刺激にボンヤリ始めて、目に見えていなくなる反応しなくなるようになります。加えて、その反応にも間違いが多くなっていくようになります。

一つのミスも許されない運転が、こんな状態で行われるのは、大変危険です。

まだアルコールの入っていない、理性があるときに、お酒を飲んだらどうやって帰るのかを決めておき、そのとおりにお酒を飲んだら、酒の席には車が出かけないことです。

### おちよこ一杯で理性が失われる

お酒を飲んで、酔った人によく「トラになった」といいます。

アルコールには、脳を麻痺させる働きがあり、その中でもまさききに麻痺する脳の部分が、人が人であるために最も大切なところ。理性をつかさどる部分なのです。理性が失われると、人はだんだん獣に近くなる。トラといわれてもしかたがないというわけですね。



町の話

話の話題

稲刈りの体験学習

水ヶ浦小学校では、10月31日、稲刈りの体験学習を行いました。この学習は、社会科の稲を育てる学習を実際に体験しようと、1年生から4年生までの34名が参加。宇和町の末光然夫さん所有の休耕田をお借りして、6月に自分達が田植えをし成長した稲を刈り取りました。

鎌を持つのも不慣れな子供達は、一株一株、慎重に稲を刈り取り、町内では珍しくなった貴重な体験を楽しんでいました。



小さな親切運動で清掃作業

10月10日の早朝、伊方の八幡神社境内にホウキやクマデを手に、清掃作業をするグループを見つけました。

このグループは、伊豫銀行伊方支店(支店長武智公正)の皆さんで、小さな親切運動を通して、地域とのふれあいを大切にしようと、月に1回、神社清掃や国道のカン捨てなどを行っているそうです。

この小さな親切運動、みんなの手で大きく町内に膨らましたいものです。



伊豫銀行伊方支店の皆さん

酒の神様「松尾神社」で祈願祭

西宇和郡杜氏組合では、10月27日、八幡神社境内にある『松尾神社』で酒づくり祈願祭を行いました。

この蔵入り前の恒例行事には、杜氏さん約30人が参加。今年もよい酒ができますように、と手を合わせていました。



祈願祭が終ると、今年も年末にかけて県内外30の酒造場へ、100人あまりが酒づくりに出かけることになっています。

新しい家族 夫婦で子育て

20

子供と親とが立ったままで話をすると、目の高さがときには一メートルも違ってしまいます。一度、親がしゃがむとか中腰になるなどして、子供と目の高さを同じにしてみてください。この子の見てくる世界はこんなものだったのかと驚くことがあるでしょう。親には見えない草花があったり、虫がいたりするものです。

子供の目の高さで生活の場

活には直接の大きな影響はありません。子供と接するときには、この子供の目について理解をもっとほしいのです。学校(幼稚園)とそこでの友達とのできごとが、大きな比重をもっています。先生に叱られた、友達とけんかをしたり、だれだれにいじめられたというように大きな問題

活が子供にとってきわめて重要で、学校でのできごとが笑い、悲しみ、怒りの原因となっていることがわかるでしょう。月曜日の朝、喜んで登校し、午後、多少の疲れはあっても機嫌よく元気に帰ってくる子供

は、学校生活を楽しくしている子供です。それに対して学校に行くことを嫌がり、帰宅しても学校のことや仲間のことを少しも話題にしない子供は、何か問題を抱えているといつてもよいでしょう。学校というところは、そこでただ教科を教えられるだけでなく、仲間との付き合い方、自己主張と自己抑制の調和を図ることなど、対人関係の基となることを習得していくところなのです。

東京都立大学教授・心理学 詫摩 武俊



模擬火災演習のお知らせ

伊方町消防団では十二月一日、模擬火災演習を行います。当日早朝、町内全域にサイレンを鳴らします。で、本当の火災と間違わないようにお願いします。演習地付近の皆さんには、早朝から大変ご迷惑をおかけします。ご協力をお願いします。

標準小作料が改訂されました

伊方町農業委員会は、三年ぶりに標準小作料の改訂を行いました。標準小作料は、借り手が貸し手に支払う小作料の目安となるものです。このほど、改訂された標準小作料は次表のとおりです。(平成元年十月分から適用)

Table with 3 columns: 農地の区分, 小作料の標準額(円), 備考. It lists rates for different types of agricultural land like water fields, common fields, and orchards.

健康の窓

老人福祉学会に参加して

参加して

去る十月二十六日・二十七日の二日間、高知県の西土佐村で老人福祉学会が開催されました。

西土佐村は、愛媛県境内にある人口四千五百人、老人人口比二十％の過疎の村です。村の中央を日本最後の清流と言われる四万十川が流れ、人情味厚い村の人々の生活を守り、美しく壮大な景観をたたえておりました。

そんな奥地の村で、宮原伸二先生(西土佐村保健センター所長)を中心に、町ぐるみの健康づくりが明るく楽しく取り組まれていました。

学会は、「保健・医療・福祉の整合をもとめて」をテーマに、四国各地より四百名の関係者が集い、熱気ある研究発表や討議がかわされました。大会の中で、宮原先生は「ほんものの医療を考へる」と題して講演。これからのほんものの医療とは、医療という科学に支えられながら、病気でなく病人を診る。まるごと人間を診、医の心を大切にすることであり、健康づくりから在宅介護までを、包含した医療であると強調されました。

また、これからの医療と福祉は、地域に根ざしたものでなくてはならない。その

これは、「地域の健康力」「地域の福祉力」を高めることが大切だということ。保健、医療、福祉が整合されてなくては、ほんものの健康づくり運動ができていないと言えないとも言っていました。

西土佐村では、年間五百回もの行事が行われ、延一万五千人以上の住民が地域に根ざした健康づくり活動に参加しています。在宅老人対策でも、寝たきり者には、診療所・保健センターで訪問検診が行われ、個々の老人に対して介護・福祉・医療の各分野において抜かりがないかどうか検討会が持たれ、訪問頻度(医師・保健婦・看護婦・ホームヘルパー・理学療法士)が決められていました。

伊方町の寝たきり老人対策は、これらが正念場です。現在、寝たきり者の介護は、家庭に大きく依存しており、保健婦、看護婦の訪問回数は少なく、保健・医療・福祉の援助もバラバラです。より人間らしく生きる生活が保障されているとはいえないのが現状です。また、家族の介護力は大きく低下しており、介護をどうするかという問題は、一家族の問題ではなく地域全体の問題となってきました。

今回、西土佐村から学んだ「ほんものの健康づくり」をめざし、町民の皆様と共に地域に根ざした健康づくりを進めて行きたいと強く思った次第です。

保健センター 篠川 光加

第41回 人権週間

国際化時代にふさわしい 人権意識を育てよう

毎年、十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。

利は認めない」というような最近の風潮は、少なからず他人の人権を侵害していることがあります。

実現しようの五項目を強調事項としておられます。

人権とは、一口にいえば、「日々の生活の中で、より幸福な人生を送るために、人間としてもっている当然の権利」といえます。

国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう

な、町の人権擁護委員は次の方々です。

- 国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
○いじめ、体罰の根を絶とう
○部落差別をなくそう
○女性の地位を高めよう
○障害者の完全参加と平等を

- 小川文一郎 TEL 三八一〇六〇七
重岡憲男 TEL 三九一〇八五五

君がわかき



十一月は、窃盗犯捜査強化月間と指名手配被疑者捜査強化月間です。

次のことに注意しましょう。
▽外出するときは、たとえわずかな時間でもカギを掛ける。また、隣近所に一声かけて留守を頼む。

“心のスキ”が狙われます
十一月は、窃盗犯捜査強化月間と指名手配被疑者捜査強化月間です。

町内の交通事故 (11月1日現在)
発生件数.....69件 (10月.....7件)
負傷者数.....27人 (10月.....4人)

歳時記 たき火

学校に行く道すがら、時間を気にしながら、たき火にあたってはいる子供たち。「垣根の垣根のまがりかど……」と歌いながら、しもやけの手をたき火にかざし、前が温まると回れ右をして背中を温めます。

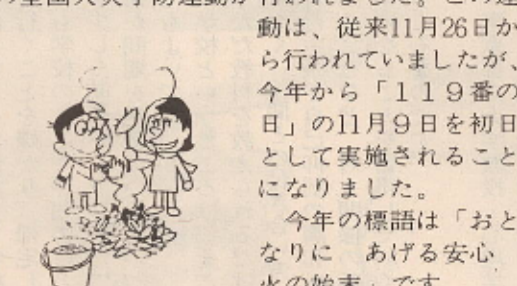
こんな風情はいつの間にか見られなくなりました。特に都会では、たき火を見たことのない子供が増えています。

最近の道路は車の通行が頻繁で、しかも舗装されていますから、垣根の曲がり角での落ち葉たきはできないわけです。

でも、たき火とひと口にいても、俳句の季節には、庭たき火、山たき火、野たき火、磯たき火などがあります。

ところで、たき火による火災は意外に多く、全国の総出火件数の10.3% (昭和62年度) を占めています。

さて、11月9日から15日までの7日間、秋の全国火災予防運動が行われました。



大阪府藤井寺市北條町四一六にお住いの渡辺藤雄さん(仁田之浜出身)から一万円。

お礼
大阪府藤井寺市北條町四一六にお住いの渡辺藤雄さん(仁田之浜出身)から一万円。

国の進学ローン
もうすぐ受験シーズンです。国の進学ローンは、受験生のいる家庭の進学資金負担を少しでも軽くするために設けられたものです。

自衛官募集
自衛隊では、陸上・海上・航空の自衛官を募集しています。
応募資格は十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する身心ともに健全な方です。

えんむすび
平成元年9月1日
氏名 本籍地
おくりやみ
平成元年9月1日
死亡者 年齢 住所

ご存じですか
国の進学ローン
▽対象 高校・大学への進学予定者の父母
▽融資金額 一進学者当り百万円以内
▽利率 年六・二% (変動することがあります)